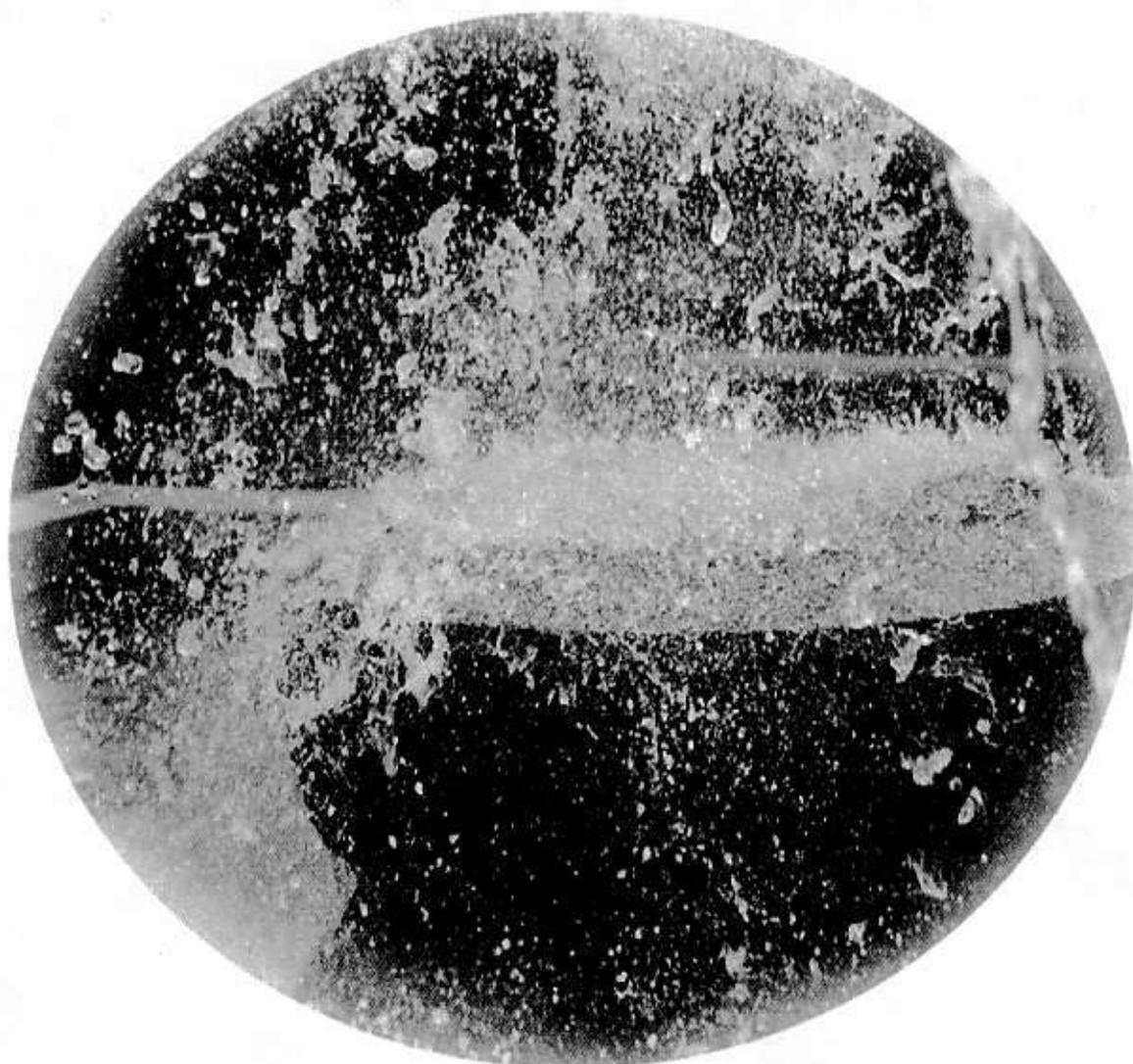


明日へつなぐ水と自然

～ 木曾川水系連絡導水路事業 ～



水がささえる豊かな社会

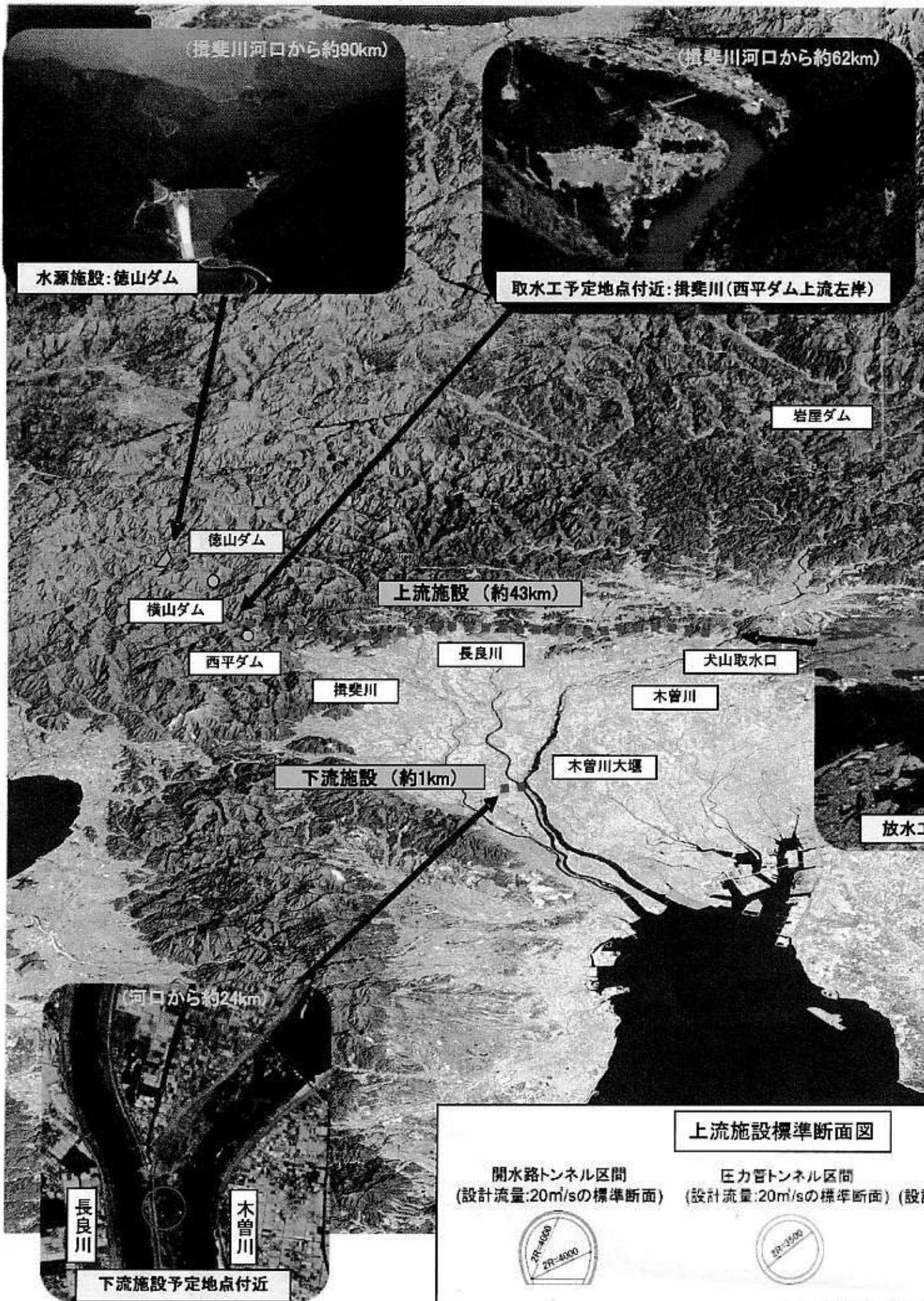


独立行政法人 水資源機構

独立行政法人水資源機構 揖斐川・長良川総合管理所 木曾川水系連絡導水路事業推進室
ホームページ <http://www.water.go.jp/chubu/kisodo/>
連絡先 〒501-0603 岐阜県揖斐郡揖斐川町上南方165番地10
TEL 0585-22-6711 FAX 0585-22-6714

推進室HP





(揖斐川河口から約90km)

(揖斐川河口から約62km)

水源施設: 徳山ダム

取水工予定地点付近: 揖斐川(西平ダム上流左岸)

岩屋ダム

徳山ダム

上流施設 (約43km)

横山ダム

西平ダム

長良川

犬山取水口

揖斐川

木曾川

下流施設 (約1km)

木曾川大堰

放水工

(河口から約24km)

長良川

木曾川

下流施設予定地点付近

上流施設標準断面図

開水路トンネル区間
(設計流量: 20m³/sの標準断面)

圧力管トンネル区間
(設計流量: 20m³/sの標準断面) (設計)



※この断面図は、今後の



事業の目的

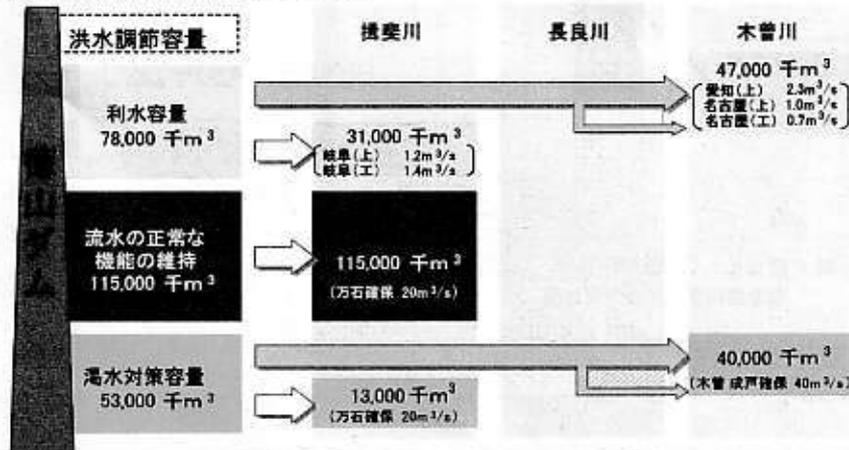
(1) 流水の正常な維持(異常渇水時*の緊急水の補給) 環境

木曾川水系の異常渇水時*において、徳山ダムに確保された渇水対策容量の内の4,000万 m^3 の水を木曾川及び長良川に導水することにより、木曾成戸地点で約40 m^3/s を確保し、河川環境の改善を行います。

(2) 水道用水及び工業用水の供給 利水

徳山ダムで開発した愛知県及び名古屋市の都市用水を最大4 m^3/s 導水することにより、木曾川で取水できるようにします。

*異常渇水時…10年に1回程度発生する規模の渇水より厳しい渇水。具体的には各ダムに確保された流水の正常な機能の維持のための水が無くなってしまう時。



事業の諸元等

○場所

【上流施設】取水工: 岐阜県揖斐郡揖斐川町(揖斐川)
放水工: 岐阜県岐阜市(長良川)、岐阜県加茂郡坂祝町(木曾川)
【下流施設】岐阜県羽島市・海津市(長良川・木曾川)

○諸元

【上流施設】延長約43km、最大通水量20.0~15.3 m^3/s 、主構造:トンネル
【下流施設】延長約1km、最大通水量4.7 m^3/s 、主構造:パイプライン

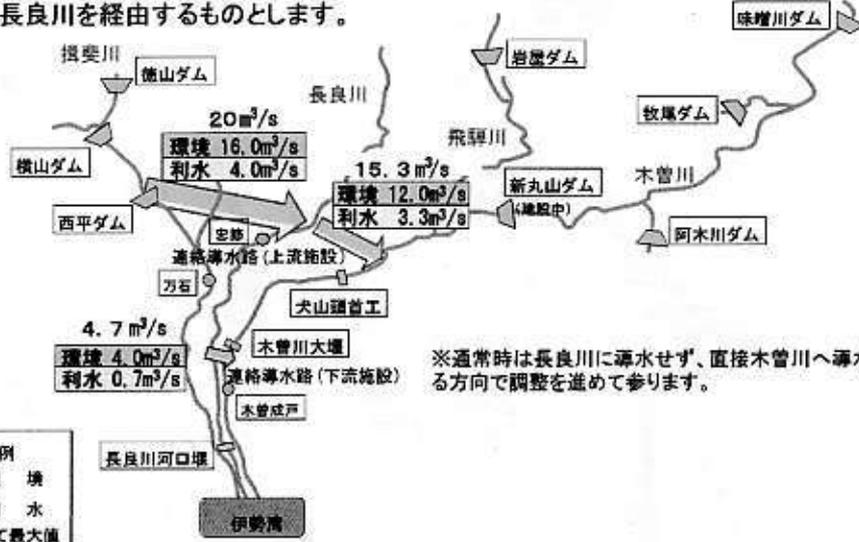
○事業費 約2,270億円(予定)

○工期 令和18年度完了(予定)

【調査・設計・用地補償に3年、工事に9年の計12年間】

導水路のルート

導水路のルートは、地形・地質上の制約、経済性、河川流況改善区間延長及び利水供給可能区域等から、揖斐川西平ダム付近から木曾川坂祝地区に導水することを基本とします。また、長良川中流部の河川環境の改善及び事業費の軽減を図るため木曾川への導水の一部を長良川を経由するものとします。



凡例
 : 環境
 : 利水
 ※値は全て最大値

圧力管トンネル区間
 流量: 15.3 m^3/s の標準断面)

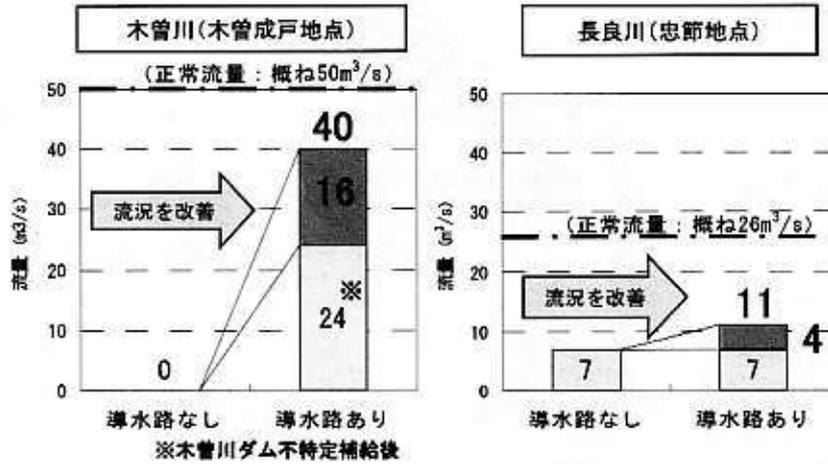


調査・検討により変わることがあります。

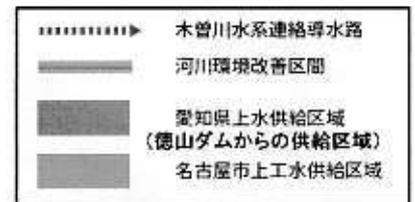
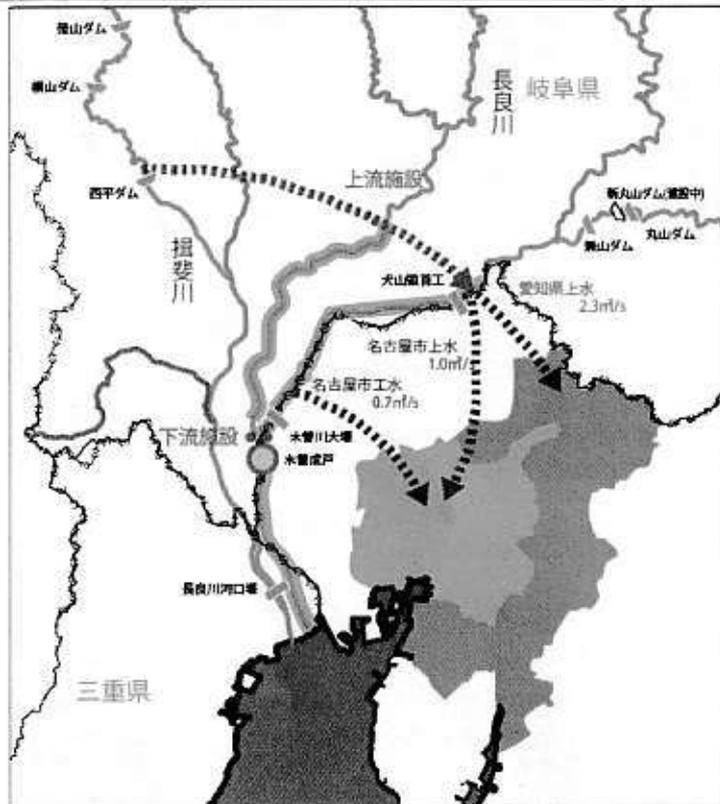
木曾川水系連絡導水路事業の効果

1. 異常渇水時の河川環境の改善

・異常渇水時の維持流量を確保することにより、河川環境の改善を図るとともに、既得用水の取水の安定化に寄与します。



2. 木曾川水系連絡導水路による利水供給区域

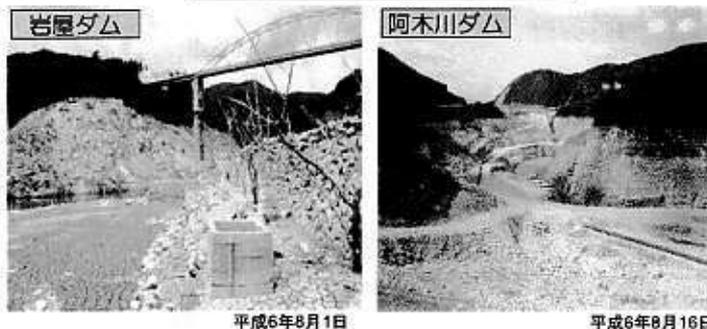


3. 渇水被害の軽減

・異常渇水による甚大な渇水被害の最小化を図るため、既存の水資源開発施設や木曾川水系連絡導水路等を最大限に活用する水系全体の総合運用について、関係機関と調整しその実施に努めることとしています。

【渇水及び異常渇水対策(河川整備計画抜粋)】

木曾川上流ダム群の枯渇状況



H6年(戦後最大)規模の渇水を対象にシミュレーションした結果

木曾川用水	断水の恐れがある取水制限日数	ダム枯渇日数
導水路整備前	81日	36日間
導水路整備後	45日	28日間
水系総合運用	3日	回避

愛知用水・東濃用水	断水の恐れがある取水制限日数	ダム枯渇日数
導水路整備前	56日	36日間
導水路整備後	38日	28日間
水系総合運用	18日	回避